議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本雷二天	山部 良二	三宮 美春	大塚 益雄	西川 秀貴	時松 智弘	田代 元気	大村裕一郎	賛成（○）	反対（●）
「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
消費税インボイス制度による小規模事業者の事業運営への影響に配慮する措置を求める意見書の提出について	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
■賛否表　○は（賛成）　●は（反対）　棄は（棄権）　欠は（欠席）
その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会　検索

消費税インボイス制度による小規模事業者の事業運営への影響に配慮する措置を求める意見書への討論

反対討論　豊瀬　和久

1、中小企業の方々の困り事がどこにあるのか明確にする必要があると思うが、意見書には、事業者が、どのように困っているのかが具体的ではない。
2、国に求めている内容も、すでに国が税負担と事務負担の軽減や補助金などの支援策を用意していることなどを考慮した上でどのような支援を求めるのかが明確ではない。

賛成討論　時松　智弘

1、請願は当初インボイス制度の反対・中止を求める内容であったが、委員会における参考人招致を経て、インボイス制度は違法ではなく免税事業者の生活を圧迫するとする根拠はないため、法と住民生活の実情に照らした内容に文言を修正している。
2、新法の運用にあたっては、施行の経過措置期間に十分に配慮が求められるべきであり、小規模事業者の懸念に対し十分応えている内容と判断するため賛成する。

議員の視点

本会議動画配信

（発言の一部を抜粋して掲載しています）

佐藤 真二議員

問　下水道事業計画の変更について縦覧していることの周知はどのように行ったのか。正確に住民に知らせ、その結果をプロセスとしてホームページに残していくべきではないか。

答　変更計画案については都市計画法に基づき公告縦覧を行い、ホームページにも掲載した。その後、都市計画審議会、県の協議を経て決定した変更計画作成にあたっては、対象者への住民説明会も開催している。

山部 良二議員

問　保育所など送迎用バスの安全装置の不具合や故障がないかの点検を事業者に徹底することや、装置は補助的役割であることを周知する必要があるのではないか。

答　運転手がバスの中を見回り、児童が残ってないことを確認することが基本で、義務化されているが、それを補うのが安全装置。
また、装置の点検をはじめ、安全対策のマニュアル策定なども促進する。

豊瀬 和久議員

問　道路交通調査はどのように調査してどのように活用するのか。
すぐにできるソフト的な渋滞対策についてどのように考えるか。
スピード感を持って実施していただきたい。

答　調査内容は県によって進行方向別や、時間体別に車両の流れを観測する交通量調査、または青信号の間に通過することが出来ない車列の長さなどを測定する渋滞調査を予定している。
この調査結果を分析することで、ソフト的な対策も含めた改善策をスピード感を持って検討していきたい。

時松 智弘議員

問　保育園の使用済みおむつ処分負担の補助について、保育士が子どもを丁寧にケアする観点では出てくるごみの量も相当多いのではないか。積算の根拠になっている重量の平均や処分費用などを考慮し、手厚く見直す考えはないか。

答　補助の運用状況を確認し、私立も含めた園の連絡会議などもあるので、そういうところで意見を聞きながらどういった形がいいか調査研究していきたい。当面は、一人300円の補助として積算をしているので、まずはその方向で運用していきたい。

荒木 俊彦議員

問　道路交通調査委託は、TSMCに関係する調査のみを予定しているのか。
県が国道325号と大津植木線の交差点を調査していたが、バラバラに調査するのではなく、県や周辺自治体と合同で調査し情報を共有することが大事ではないか。

答　町において実施する調査は、TSMC関係に限定するのではなく、町全体で現に渋滞が発生している箇所を幅広く調査する予定としている。
この調査結果をもとに改善策を検討することになるが、広域的な視点で効果的な対策を検討するためにも、県が近隣市町村で実施した調査結果を共有していただくことにしている。

永田 和彦議員

問　町所有の学童送迎用のバスの貸与について判断するためにも、例えばバスの値段、償却年数などを勘案して経費的なメリットを示すべきでないか。

答　バスが別の社会福祉法人から返還された際に、その後の利活用についてどのような事業で活用することができるかなど管理経費も含めたところでの検討がなされている。

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました

6月定例会議

会期期間10日間　6月7日～6月16日

6月定例会の議案等は
予算……　2件
条例について……　2件
人事……　16件
その他……　7件

pick up 1　LPガス使用世帯支援補助
1世帯6千円
6,930万円

pick up 2　農業経営者への負担軽減補助
5,550万円

現在、畜産農家はウクライナ情勢、円安による飼料・生産資材の高騰に苦しんでいます。また、子牛価格の低迷も続いています。個々の低コストの取り組みも限界です。
この補助金、大変ありがたく利用させていただきます。

木村　直貴さん（繁殖農家）

pick up 3　体育施設修繕・補修
1,250万円

以前は照明が半分ほどしかついていませんでしたが、全部つくようになり、活動がしやすくなりました。後は雨漏りがひどいので、菊阿体育館がこれ以上傷む前に補修していただけるとありがたいです。

田中　由維さん（熊本トランポリンクラブ大津教室）

pick up 4　道路交通調査業務委託
1,000万円

pick up 5　学校給食用食材費補助（年間約2,400円）
960万円

物価高騰の影響は学校給食で使う食材も例外ではありません。今回の補助金は給食用の食材の値上がり分を補助していただくものです。主なものとしては、主食の米飯・パン及び牛乳の3品目で年間約490万円、副食（おかず）分として約480万円、合計960万円となります。

pick up 6　おむつ処理費用補助
190万円

当園では3月からオムツを園で処分しているため、処理費用の補助は助かります。オムツを持ち帰るために1人ずつ分けなくてよいので、ひとまとめに処理でき、保育サービスの向上や保護者の負担も軽減するので、安心につながると思います。

加藤　里美さん（ちゅうりっぷ保育園　園長）

pick up 7　バス安全装置設置補助
110万円

大塚　融さん
（大津あゆみ園　あゆみキッズクラブ）

バス安全装置設置補助のご支援を頂き、大変感謝しております。バスは子どもたちの移動手段として重要な役割を果たしており、安全性は何よりも最優先の課題なのでとても助かります。大津あゆみ園でも送迎を行っています。障がいの施設の方でもご支援していただけると助かります。